THIS PAGE IS INSERTED BY OIPE SCANNING AND IS NOT PART OF THE OFFICIAL RECORD

Best Available Images

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

BLACK BORDERS

TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT

BLURRY OR ILLEGIBLE TEXT

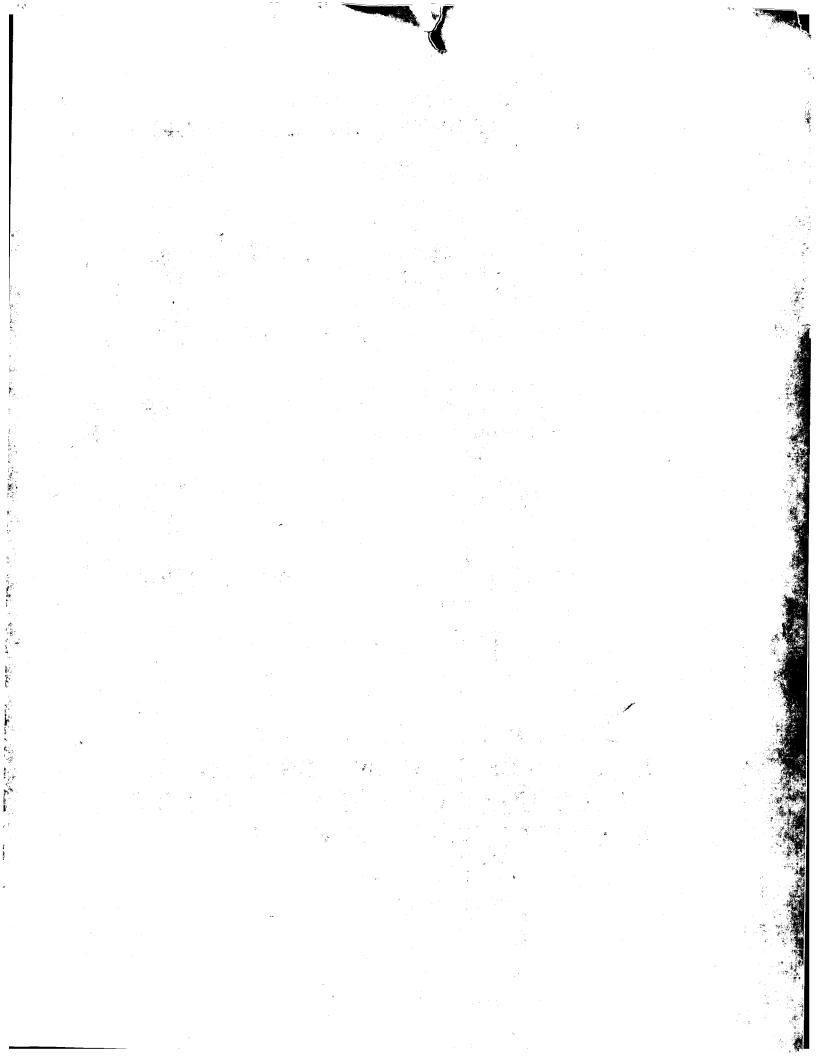
SKEWED/SLANTED IMAGES

COLORED PHOTOS HAVE BEEN RENDERED INTO BLACK AND WHITE

VERY DARK BLACK AND WHITE PHOTOS

UNDECIPHERABLE GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE THE BEST AVAILABLE COPY. AS RESCANNING WILL NOT CORRECT IMAGES, PLEASE DO NOT REPORT THE IMAGES TO THE PROBLEM IMAGE BOX.



10705 975

DIALOG(R) File 351: Derwent WPI

(c) 2003 Thomson Derwent. All rts. reserv.

008866583 **Image available**
WPI Acc No: 1991-370609/199151

XRPX Acc No: N91-283739

Heating apparatus for fixing image on recording material - has film pressing roller cooperating with heater to engage film

Patent Assignee: CANON KK (CANO)

Inventor: KURODA A; SASAKI S; SETORIYAMA T

Number of Countries: 006 Number of Patents: 006

Patent Family:

carr

Patent No	Kind	Date	Applicat N	o Kind	Date	Week	
EP 461595	Α	19911218	EP 9110951	3 A	19910610	199151	В
JP 4044075	Α	19920213	JP 9015360	2 A	19900611	199213	
EP 461595	A3	19930929	EP 9110951	3 A	19910610	199509	
EP 461595	В1	19960313	EP 9110951	3 A	19910610	199615	
DE 69117806	Ε	19960418	DE 617806	А	19910610	199621	
			EP 9110951	3 A	19910610		
US 5525775	Α	19960611	US 9171253	2 A	19910610	199629	
			US 9352276	А	19930426		
			115 9434718	2 A	19941122		

Priority Applications (No Type Date): JP 90153608 A 19900611; JP 90153602 A 19900611; JP 90153607 A 19900611

Cited Patents: NoSR.Pub; EP 109283; EP 295901; EP 362791; EP 369378; EP 411538; US 3811828; US 4565439

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

EP 461595 A

Designated States (Regional): DE FR GB IT

JP 4044075 A 21

EP 461595 B1 E 20 G03G-015/20

Designated States (Regional): DE FR GB IT

DE 69117806 E G03G-015/20 Based on patent EP 461595

US 5525775 A 17 G03G-015/20 Cont of application US 91712532 Cont of application US 9352276

Abstract (Basic): EP 461595 A

The apparatus includes a heater (19), an endless film (21) contactable with the heater, a back-up member (10) cooperative with the heater to form a nip with the film sandwiched in between and a recording material. The latter has an image passed between the back-up member and the film to heat the image by heat from the heater through the film.

A guide disposed upstream of the heater with respect to the movement direction of the recording material is provided for guiding the film. The film is tensioned at least adjacent the guide and in the nip when the film is driven.

ADVANTAGE - Has lateral shifting tendency of heating film reduced and its lateral edge controlled. (19pp Dwg.No.1/13)

Abstract (Equivalent): EP 461595 B

An image heating apparatus, comprising a heater (19) an endless film (21) contactable with said heater; a back-up member (10; 10A) cooperative with said heater to form a nip (N) therebetween with said film sandwiched therebetween, a recording material (P) having an image being passed between said back-up member and said film to heat the

image by heat from said heater (19) through said film; characterized by a guide (13), disposed upstream of said heater (19) with respect to a movement direction of said film (21), for guiding said film, whereby said film is extended loosely around said guide (13) wherein said film is tensioned at the positions of said guide (13) and said nip (N) while the film is being driven and there is a non-film-guiding portion which does not guide said film between said guide (13) and said nip (N).

Abstract (Equivalent): US 5525775 A

An image heating apparatus, comprising:

a heater;

an endless film movable in contact with said heater;

a back-up member cooperative to form a nip with said heater with said film therebetween, wherein said nip is effective to feed a recording material carrying an image and to heat the image by heat from said heater through said film; and

a guiding member for guiding said film, said film being loosely extended around said guiding member, and said guiding member having a guiding portion at a position upstream of said heater with respect to a movement direction of said film,

wherein said film is tensioned at the guiding portion and the nip as said film is being driven, and wherein said guiding member has a non-film-guiding portion, which does not guide said film, provided between said guiding portion and aid nip. Dwg.7/12

Title Terms: HEAT; APPARATUS; FIX; IMAGE; RECORD; MATERIAL; FILM; PRESS; ROLL; COOPERATE; HEATER; ENGAGE; FILM

Derwent Class: P84; S06

International Patent Class (Main): G03G-015/20

International Patent Class (Additional): H05B-003/00

File Segment: EPI; EngPI

Manual Codes (EPI/S-X): S06-A06

平4-44075 @公開特許公報(A)

®int. Cl. *	識別記号	庁内整理番号	@公開	平成4年(1992)2月13日
G 03 G 15/20	101	6830-2H		
H 05 B 3/00	102 335	6830-2H 8715-3K		
		次弦 套	未結束	請求項の数 3 (全 21 頁)

加熱装置 ❷発明の名称

②持 願 平2-153602

谷出 顧 平2(1990)6月11日

分外 明 者 世取山 庻 黒 田 睭 分発 明 者

新一 分分 明 者 佐々木 キャノン株式会社 **60出 願 人** 弁理士 高梨 幸雄 70代 理 人

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

663

1. 発明の名称

加熱裝置

- 2. 粉許請求の範囲
- (1) 協定の加熱体と、

この加熱体に内面が対向圧移されて移動展動 されるエンドレズの耐然性フィルムと、

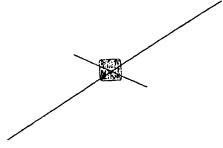
前記加熱体との間に前記フィルムを挟み込んで ニップ形を形成し、そのニップ那におけるフィル ム州前との間に導入された、景顕像を支持する 記録材をフィルムを介して回熱体に圧接させる

を打し、前記エンドレスの耐熱性フィルムの 周長の少なくとも… 心は常にテンションフリー である.

ことを特徴とする加熱發展。

(2) 前記エンドレスの耐熱性フィルムは. 非顧動時において前記加熱体と圧接郵材との ニップ部に挟まれている部分を除く残余の周及 部分がテンションフリーの状態にあり、脂動時に おいては前記ニップ郎と、茲ニップ郎よりも フィルム移動方向上裁倣であって該ニップ部近份 のフィルム内筋ガイド部分とはニャブ部の間の 部分のみにおいてテンションが無わる関係構成 となっていることを斬機とする祈求項1配載の 加热装置。

(3) 資配圧接部材はフィルムを挟んで前記加熱 体に圧接しつつ駆動機により回転駆動されて フィルム内面を加熱体面に精動させつつフィルム を所定の速度で記録材酸送方向へ移動駆動させる 回転体であることを特殊とする指求項:記載の 断熟整置。



12.0

3. 発明の詳細な説明

(歳業上の利用分野)

本発明は、知然体に圧接させて移動服物をせた 制能性フィルムの加熱体側とは反対面側に、 級頑似を支持する記録材を導入して密着させて フィルムと一緒に加熱体位置を透過させることで 加熱体の熱をフィルムを介して導入記録材に 与える方式(フィルム加熱方式)の加熱装置に 切する。

3

させる方式・結成の装置を提案し、既に実用にも 供している。

より具体的には、幕内の耐熱性フィルム(又は シート)と、鉄フィルムの移動駆動手段と、 誰フィルムを中にしてその---方面像に協定支持 して配置されたヒータと、他方面個に註ヒータに 対向して配要され数ヒータに対してはフィルムを 介して超像定路するべき記録材の重額像根拼面を 疾者させる加圧部材を有し、減フィルムは少な くとも衝像定身実行時は独フィルムと加圧部材 との網に搬送導入される個像定着すべき記録材と 昭方向に略同一速度で走行移動させて盆走行移動 フィルムを挟んでヒータと加圧形材との圧接で 形成される定界部としてのニップ部を通過させる ことにより鉄記録材の疑惑批技面を鉄フィルムを 介して該ヒータで加熱して親函像(米定省トナー 便) に結エネルギーを付かして軟化、溶解せ しめ、次いで定者都通過後のフィルムと記録材を 分離点で離別させることを基本とする加熱手段・ 我親である。

また、例えば、函数を掛おした記録材を加熱 して表面性を改賞(つや出しなど)する抗理、 仮定者処置する効量に使用できる。

(背景技術)

従来、例えば、関係の加熱定名のための記録がの 加熱 独実は、 所定の 譲渡 に 執 付 された 加熱 ローラと、 弾性層を 有して 縁 加熱 ローラ に 圧 移する 加圧ローラ とによって、 記録 材を 決待 散 送しつつ 加熱する 熱ローラ 方式 が 多川 されている。

その他、フラッシュ加熱方式、オーブン 脚熱 方式、熱板加熱方式、ベルト 加熱方式、高内被 加熱方式など様々の方式のものが知られている。

方、本出額人は例えば特別的 53-313182 号公報等において、固定支持された加熱体(以下ヒータと記す)と、該ヒータに対向圧接しつつ散送(移動駆動) される耐熱性フィルムフィルムと、該フィルムを介して記録材をヒータに治れさせる加圧部材を付し、ヒータの熱をフィルムを介して記録材へ付与することで記録材而に形成祖持されている米定券頭像を記録材而に加熱定行

4

この様なフィルム加熱方式の装置においては、 昇級の違い加熱体と棒製のフィルムを用いるため ウェイトタイム知能化(クイックスタート)が 可能となる、その他、従来製製の無々の欠点を 解決できるなどの利点を有し、効果的なもので ある。

第13図に耐熱性フィルムとしてエンドレス フィルムを使用したこの種方式の類像加熱定着装 窓の一供の概略構成を示した。

5 1 はエンドレスベルト状の射然性フィルム (以下、定をフィルム又は単にフィルムと記す) であり、左郎の駆動ローラ 5 2 と、紅鶴の従動 ローラ 5 3 と、これ等の駆動ローラ 5 2 と 従動 ローラ 5 3 関のド方に配置した 低熱 8 後線状 加熱体 5 4 の互いに並行な談 3 郎材 6 2 · 5 3 · 5 4 間に壁回係散してある。

定者フィルム51 は駆動ローラ52 の時計方向 同転駆動に作ない時計方向に所定の周速度、 即ち 不関示の順電影度都関から搬送されてくる来定者 トナー調電Taを上版に担持した被加熱材として の記録 付シート P の pr 迅速度 (プロセススピー ド) と時間 D 周速度をもって回転駆動される。

55は加圧の材としての加圧ローラであり、 群起のエンドレスベルト状の定着フィルム 51の 下行間フィルム部分を挟ませて前記加熱体 54の 下間に対して不例示の付券手段により圧慢させて あり、 記録材シート Pの 製造方向に順方向の 反時計方向に回転する。

加熱体 5 4 はフィルム 5 1 の面移動方向と交充する方向(フィルムの幅方向)を展手とする低熱客情報状加熱体であり、ヒータ基板(ベース材) 5 6 ・通 電発熱板状体(発熱体) 5 7 ・ 表面 領域層 5 8 ・検道素子 5 9 等よりなり、断熱材 6 0 を介して支持体 6 1 に取付けて固定支持させてある。

不関示の強要形成都から撤送された米定券のトナー前像T * を上面に抵抗した記録料シートP はガイド 6 2 に案内されて加熱体 5 4 と加丘ローラ 5 5 との圧損略 N の実者フィルム 5 1 と 加丘ローラ 5 5 との間に進入して、未実者トナー

7

(免明が解決しようとする問題点)

このようなフィルム加熱方式の装置は問題な として次のようなことが挙げられている。

(1) フィルム 5 1 に常に余輝的にテンションを 加えてフィルムを強り状態にしてフィルムを 報送駆動する系では、フィルムの搬送駆動に 大きな駆動トルクを必要とした。その結果、 茨置構成部品や駆動力伝達手段等の剛性や性能を グレードアップして信頼性を確保する必要が あり、後輩構成の複雑化、大型化、コストアップ 化等の一因となっている。

(2) 駆動ローラ 5 2 と受動ローラ 5 3 間や、 それ 等のローラと 加熱体 5 4 間の平行度など アライメントが狂った場合には、これ等の 都村 5 2 · 5 3 · 5 4 間に常に全周的にテンションが 加えられて 型回張数されているフィルム 5 1 には 都村 5 2 · 5 3 · 5 4 の長手に沿ってフィルム 幅 方向の - 端側又は他端側への非常に大きな寄り力 が 個く。

フィルム 5.1 としては熱容量を小さくして

副数面が記録材シートPの撤送速度と何・速度で 同方向に回動駅動状態の定着フィルム51の下面 に密着してフィルムと一緒の表なり状態で加熱体 54と加圧ローラ55との相互圧排第N間を通過 していく。

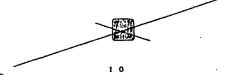
加熱体 5.4 は所定のタイミングで通電知熱されて該加熱体 5.4 側の熱エネルギーがフィルム 8.1 を介して該フィルムに密着状態の記録材シート P 側に伝達され、トナー酶像T = は比様部 N を通過していく過程において加熱を受けて軟化・形骸像 T b と なる。

回動駆動されている定者フィルム 5 1 は断熱材 8 0 の角率の大きいエッジ形 5 において、 2 角度 で走行方向が転向する。 従って、 定者フィルム 5 1 と 度なった状態で圧検部 N を過過して報送された記録材シート P は、 エッジ部 5 において 定者フィルム 5 1 から南率分離し、 排紙されて ゆく。 排紙部へ至る時までにはトナーは十分に 冷却因化し記録材シート P に完全に定着T c した 状態となっている。

8

クイックスタート性をよくするために100μm 以下げましくは40μm以下のもともと関性の 低い(コシが弱い) 毎内のものが使用されて おり、また該フィルム51が複数の掛け板し部り 52・53・54間に掛け板されるためにフィルム の開長も長く、その結果としてもフィルム51 の関性が低いものであるところ、このような フィルムに上述のような非常に火きな等りが 働いて等り移動することでその等り移動倒の フィルム場都がその側の装置部材に押し当たる と、フィルム域部は大きな等り力に耐え切れずに 座底・破損等のダメージを生じる結果となる。

またフィルム 5 1 の寄り位置によってはフィルム の 徹 送 力 の バ ラ ンス が 樹 れ た り 、 定 美 時 の 加 圧 力 の バ ラ ンス が 均 一 に な ら な か っ た り ・ 加 糸 体 1 9 の 磁 度 分 称 の バ ラ ンス が 尉 れ る 等 の 同国 が 生 じる こ と も ある 。



本 代明 は 回じくエンドレスの射熱性フィルムを 用いたフィルム加熱方式に 裏するものであるが、 駆動ト ルク・フィルム 寄り力の 低減を 図り、 上述のような 同題点を解消した 加熱設置を提供 することを 目的とする。

(問題点を解決するための手段)

本発明は、

間定の加熱体と、

この加熱体に内面が対向圧接されて移動服動されるエンドレスの耐熱性フィルムと、

耐記加熱体との間に向記フィルムを挟み込んでニップ席を形成し、そのニップ部におけるフィルム外面との間に導入された、増殖像を支持する記録料をフィルムを介して加熱体に圧接させる部材と、

を有し、耐記エンドレスの耐熱性フィルムの 周長の少なくとも一郎は常にテンションフリー Tax

ことを特徴とする別熱被置 である。

1 1 .

(作 用)

(1)フィルムを駆動させ、加熱体を免熱させた 状態において、フィルムを挟んで加熱体と圧権 那材との間に形成させたニップ部のフィルムと 圧接係材との間に断面像を支持した配ધ材を 頒画像担持前側をフィルム側にして導入すると、 記録材はフィルム外面に密着してフィルムと 網にニップ部を移動通過していき、その移動 逃逃逃れてニップ部においてフィルム内面に接し ている加熱体の熱エネルギーがフィルムを介して 記録材に付与され、順面像を支持した記録材が フィルム加熱方式で加熱処理される。

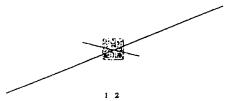
(2)フィルムは少なくとも… 郎は常に切ちフィルム非駆動時もフィルム駆動時もテンションフリー(テンションが加わらない状態)の部分がある構成(テンションフリータイプ)となすことにより、 お途 第13 図例 装置のもののように 関係の長いフィルムを常に全路的にテンションを加えて張り状態にして駆動させる構成(テンションタイプ)のものに比べてフィルム駆動のための

また本発明は上記の加熱質量をついて、

前記エンドレスの創態性フィルムは、非認動時において約記却能体と圧得部材とのニップ部に快まれている部分を除く残余の周長部分がデンションフリーの状態にあり、駆動時においては前起ニップ部と、減ニップ部よりもフィルム移動方向上複雑であってはニップ部の間の部分のみに内面ガイド部分とはニップ部の間の部分のみにおいてテンションが知わる関係構成となっていること。

前記任接尾村はフィルムを挟んで約記加熱体に 任権しつつ駆動数により回転駆動されてフィルム 内面を知無体感に援動させつつフィルムを所定の 速度で記録柱服送方向へ移動駆動させる回転体で あること。

などを特徴としている加熱装蔵である。



腹動トルクを大幅に低級することが可能となる。

びって装置構成や駆動系構成を簡略化・小型化・低コスト化等すること、装置構成都品や組み立 て特度をラフにすることも可能となる。

(3)またフィルム駆動過程でフィルム幅方向の 一方個又は他方側への寄り移動を生じたとしても その寄り力は解述第13関例のテンションタイプ の装置のもののようにフィルム全角長にテン ションが知わっているものよりも大幅に小さい ものとなる。

そのためフィルムが寄り移動してその客り移動 脈のフィルム 帆形がその間の 装置 サイド部 材に 押し当り状態になってもフィルムなり力が小さい のでその寄り力に対しフィルムの剛性 (コシの 強さ)が十分に打ち舞ちフィルム場尾のダメージ が防止される。

装ってフィルムの書り移動を倒えば病所(フランジ形材)のような簡単なフィルム構築規制器材により規制することが可能となり、フィルムの寄り移動検知手及・灰し移動手段等を含む大掛り

なフィルム等り移動制御機構の必要性はなく、 この点においても装置構造を資略化・小型化・ 低コスト化等することが可能となる。

またフィルムとしては寄り力が低下する分、 関性を低下させることができるので、より罹肉で 熱容量が小さいものを使用して装置のクイック スタート性を向上させることが可能となる。

t 5

(実 店 例)

図面は本名明の… 実施供装置(新像加熱定符 監製100)を示したものである。

(1)装制100の全体的無略構造

第1 対は失界 1 0 0 の映断問題、第2 例は 縦断顔陸、第3 対・第4 図は装置の右側面図と 左側面図、第5 対は長部の分解が視距である。

1 は起金製の横断両上向きチャンネル(棺)形の横長の特置フレーム(鸡飯)、2・3はこの製造フレーム1の左右海領船に禁フレーム1に、体に其俗させた左領戦級と右側壁板、4は装置の上カバーであり、左右の観壁板2・3の上端部間にはめ込んでその左右端部を夫々左右側壁板2・3に対してねじちで閉定される。ねじちをゆるめ外すことで取り外すことができる。

6・7 は左右の名偶型版2・3の略中央部面に 対称に形成した版方向の切欠を長穴、8・9 は その各長穴6・7 の下編部に嵌係合させた左右 --対の軸挙駆材である。 テンションの作用により助止される。

これによりニップ部へ導入される記録材は常に シワのないフィルム前に対応密着してニップ部を フィルムと一緒に移動通過する。従ってシリの あるフィルム前に被加熱材が密着して、娘いは シワのあるフィルムがニツブ部を通過する 単郷を 生じることによる加熱ムラ・定着ムラの発生、 フィルム間の折れすじの発生等が防止される。 (5) 圧排形材はフィルムを挟んで加熱体に圧搾

(5) 圧棒部材はフィルムを挟んで加熱体に圧接 しつつ延動製により回転延動されてフィルムの連覧 を加熱体前に揺動させつつフィルムを所定の(フィルムの延維と駆動の両機能をするローラ体(体)となることで、フィルムに かかる 等り力を 低減することが 可能となる た 共に、 鉄回転体の位置や 数回転体を 駆動する ため の ギアの 位 和 財 低 を 印 と で に 数 頭 帳 の に か の に 数 の に か の に な の に か の に か の に 数 は れ な の と か で き 。 また 使 川 することが できる。

1 6

10は後述する知熱体との間でフィルムを挟んでニップ形を形成し、フィルムを無動する回転体としてのフィルム 加圧ローラ (圧移ローラ、バックアップローラ)であり、中心軸11と、この軸に外接したシリコンゴム等の離裂性のよいゴム弾性体からなるローラ部12とからなり、中心軸11の左右端部を夫々前記た右の軸受彫材8・9に回転自由に軸受支持させてある。

13は、板金製の観長のステーであり、 後述 するフィルム 21の内面ガイド部材と、後述する 加熱体 19・販熱部材 20の支持・精強部材を 参わる。

このステー13は、横長の平な蛇頭部14と、この底面部14の長手両边から失々・速に立ち上がらせて具備させた横斯田外内を円強カーブの射撃板15と装御板15と、底面部14の左右両端部から失々外方へ突出させた左右・対の水平後り出しラグ部17・18を有している。

19は後述する構造(第6図)を有する検及の 低熱容量雑状加熱体であり、級及の暗熱部材20 に取付け支持させてあり、この断熱部料20を 加熱体19個を下向きにして解記ステー13の) 模長彫画部14の下面に並行に一体に取付け支持 させてある。

2 1 はエンドレスの耐熱性フィルムであり、加熱体 1 9 ・断熱部材 2 0 を含むステー 1 3 に外版させてある。このエンドレスの耐熱性フィルム 2 1 の内周長と、加熱体 1 8 ・断熱部材 2 0 を含むステー 1 3 の外属長はフィルム 2 1 は加熱体 1 9 ・断熱部材 2 0 を含むステー 1 3 に対して関係が余裕をもってルーズに外依している。

22・23はフィルム21を加熱体19・断熱 部材20を含むステー13に外版した後にステー 13の左右機能の各本平費り出しラグ部17・ 18に対して仮避して取付け支持させた左右一対 のフィルム機能規制フランジ部材である。後述 するように、この左右一対の名フランジ部材 22・23の料座の内間22s・23s間の

19

次いで、ステー13、加熱体19、輸熱部材20、フィルム21、左右のフランジ部材22、23を図のような関係に手め組み立てた中間組立て体を、加熱体19個を下向きにして、かつ断熱部材20の左右の外方突出幅と左右のフランジ部材22・23の水平強り出しラグ部24・25を夫々左右側壁板2・3の線方向切欠を長穴6・7に上端関数部から 販係会させて左右側壁板2・3間に入れ込み、下向きの加熱な19がフィルム21を挟んで先に組み込んである加圧ローラ10の上面に当って乗け止められるまでドろす(森し込み式)。

間隔寸近 G (第8 図) はフィルム 2 1 の報寸状 C (同)よりもやや大きく数定してある。

24・25はその左右一対の各フランジ係材 22・23の外頭から外方へ突出させた水平張り 出しラグ那であり、前記ステー13個の外向き 水平張り出しラグ師17・18は夫々このフラン ジ幣材22・23の上記水平張り出しラグ師24 ・25の内厚内に具備させた走し込み川穴部に 上分に嵌入していて左右の各フランジの材22・ 23をしっかりと支持している。

装置の組み立ては、左右の側壁板2・3間から上カバー4を外した状態において、軸11の左右 瀬都側に子の左右の軸受部材8・9を接着したフィルム加圧ローラ10のその左右の軸受部材8・9を左右側弧板2・3の縦打向切欠き投穴6・7に上端間放船から股係合させて加圧ローラ10を左右側壁板2・3間に入れ込み、左右の軸受部材8・9が長穴6・7の下端部に受け止められる位数まで下ろす(※し込み式)。

2 0

ばわ26・27をラグ那24・28、25・29 同に押し締めながら、左右の研験板2・3の 上級部間の所定の位置まで接め入れてねじちで 左右の側駅板2・3間に固定する。

これによりコイルばね 2 6 ・ 2 7 の押し解め 反 力で、 ステー 1 3 、 加熱 体 1 9 、 新 熱 節 材 2 0 、フィルム 2 1 、 左右のフランジ配材 2 2 ・ 2 3 の全体が下方へ押圧付勢されて加熱 体 1 9 と 加圧 ローラ 1 0 とがフィルム 2 1 を挟んで 長季 各部略均等に例えば総圧 4 ~ 7 k g の 当権圧を もって圧権した状態に保持される。

30・31は左右の雄獣板2・3の外側に 長穴5・7を通して突出している断熱部材20の 左右両幅部に失々嵌着した、加熱体19に対する 電力供給用の給電コネクタである。

3 2 位数数フレーム 1 の前面型に取付けて 配なした被加熱材入口ガイドであり、数数へ導入 される被加熱材としての、瞬間像 (お休トナー 型) T = を支持する記録材シートP (第7関)を フィルム 2 1 を狭んで圧성している加熱休 1 9 と

--954---

加圧ローラ10とのニップ部(加熱定者部)Nのフィルム21と加圧ローラ10との既に向けて 当内する。

3 3 は装置フレーム I の核歯壁に取付けて配数 した被加熱材出口ガイド (分離ガイド) であり、 上記ニップ 部を通過して出た記録材シートを 下側の排出ローラ 3 4 と上側のピンチコロ 3 8 とのニップ部に実内する。

は出ローラ34はその他35の左右両幅部を たちの側壁板2・3に数けた他受36・37間に 回転自由に他受支持させてある。ピンチコロ38 はその他39を上カバー4の後面駅の一部を内側 に曲げて形成したフック部40に受け入れさせて 自感と押しばね41とにより排出ローラ34の 上面に当様させてある。このピンチコロ38は 排出ローラ34の回転取動に従動降転する。

G 1 は、 右側態板 3 から外方へ突出させたローラ軸 1 1 の右編に固むした第1ギア、 G 3 はおなじく右側壁板 3 から外方へ突出させた練出ローラ軸 3 5 の右線に困難した第3ギア、 G 2 は

2 3

エンドレスの耐熱性フィルム21が加圧ローラ 10の回転均速と略同速度をもってフィルム内面 が加熱体19前を構動しつつ時計方向Aに回動 移動影動される。

このフィルム21の駆動状態においてはニップ 配 N よりもフィルム回動方向上を倒のフィルム 配分に引き寄せ力(が作用することで、フィルム 21 は37 7均に実ねで示したようにニップ 68 N よりもフィルム回動方向上複響であってはニップ 電近傍のフィルム内間ガイド部分、即ちフィルム 21 を外嵌したステー13のフィルム内面ガイド としての外向を呼吸カーブ斡旋板15の略下半断 部分に対して接触して搭動を生じながら回動する。

その結果、団効フィルム21には上記の額面板 15との接触摺動節の始点部のからフィルム団動 方向下機関のニップ部ドにかけてのフィルム部分 8にチンションが作用した状態で回動すること で、少なくともそのフィルム部分面、四ちニップ 部ドの記録材シート進入側近傍のフィルム部分面 む側数板3の外面に包着して設けた中継ギアとしての第2ギアであり、上北の第1ギアG」と 並3ギアG3とに噛み合っている。

第1年アG!は不図示の解助減機構の解助ギアG0から駆動力を受けて加圧ローラ10が第1図上反映計方向に回転顧助され、それに連動して第1年アG1の回転方が第2ギアG2を介して第3ギアG3へ伝達されて排出ローラ34も第1図上反映計方向に回転駆動される。

(2)助作

エンドレスの耐熱性フィルム21は存態動時においては第6回の要都部分拡大図のように加熱体19と加圧ローラ10とのニップ部Nに挟まれている部分を除く残余の大部分の略全関長部分がテンションフリーである。

第1 ギア G 1 に駆動認識機の駆動ギア G 0 から 最助が伝達されて加圧ローラ 1 0 が所定の関連度 で第7 関上反時計方向へ回転駆動されると、 ニップ部 N においてフィルム 2 1 に同転加圧 ローラ 1 0 との関係力で送り移動力がかかり、

2 4

8、 及びニップ係 N のフィルム 部分についての シワの発生が主意のテンションの作用により防止 される。

そして上記のフィルム駆動と、加熱体19への通常を行わせた状態において、入口ガイド32に 裏内されて波加熱材としての未定着トナー像T ® を担持した記録材シートPがニップ部Nの回動 フィルム21と加圧ローラ 10との関に像程付ル 上向きで導入されると記録材シートPはフィルム 21の面に密着してフィルム21と一緒にニップ 部Nを移動通過していき、その移動通過機によっ で対象があると記録があるとのである。 部とおり、このが、このはないである。 には対シート Pに付与されトナー面像T ®は を化溶験像T bとなる。

ニップ部 N を通過した記録材シート P はトナー 温度がガラス 転移点より 大なる 状態でフィルム 2 1 両から離れて出口ガイド 3 3 で排出ローラ 3 4 とピンチコロ 3 8 との間に案内されて装置外へ送り出される。記録材シート P がニップ部 N を

出てフィルム21 函から離れて禁出ローラ34へ 至るまでの関に敷化・溶液トナー象でもは冷却 して耐化像化ででして定着する。

上記においてニャブ総トへ導入された記録材シートPは前途したようにテンションが作用していてシワのないフィルム部分商に常に対応需要してニップ部トをフィルム21と一緒に移動するのでシワのあるフィルムがニップ部トを通過する中原を生じることによる加熱ムラ・定むムラの発生、フィルム前の折れすじを生じない。

フィルム 2 1 は被駆動時も影響時もその全別技の・部N又はB・NCしかテンションが知わらないから、即ち非駆動時(第 6 図)においてはフィルム 2 1 はニャブ部Nを除く残余の大部分の軟や傾矢部分がテンションフリーであり、駆動時もニャブ部Nと、そのニャブ部Nの記録材シート送人解近傍都のフィルム部分Bについてのみテンションが作用し残余の人部分の略全層仮部のステンションプリーであるから、また全体に開動のないフィルムを使用できるから、フィルム駆動の

2 7

関略化・小型化・係コスト化がなされ、安備で 信頼性の高い装置を構成できる。

フィルム等り規制手段としては本実施例装置の 場合のフランジ部材22・23の億にも、例えば フィルム21の鳴船にエンドレスフィルム関方向 に耐熱性影響から成るリブを設け、このリブを 規制してもよい。

更に、使用フィルム 2 1 としては上記のように 省り力が低下する分、 創性を係 F させることが できるので、 より 種内で熱野県が小さいものを 使用して装裂のクイックスタート作を向上させる ことができる。

(3)フィルム21mついて。

フィルム21は熱客和を小さくしてクイックスタート代を向上させるために、フィルム21の 駅 厚 T は 謎 厚 100μ m 以 下 、 好ま しく は 40μ m 以 ト 、 20μ m 以 上 の 耐 然性・ 離 形性・ 強度・耐久性等のある 単層 或は複合 牌フィルムを 使用できる。

例えば、ポリイミド・ポリエーテルイミド

ために必要な部動トルクは小さいものとなり、 フィルム装置物成、部出、影動系線成は誘略化・ 小型化・低コスト化される。

またフィルム 2 1 の非駆動時 (第 6 図) も 駆動時 (第 7 図) もフィルム 2 1 には上形のよう に全用及の一部NVはB・Nにしかテンションが 加わらないので、フィルム駆動時にフィルム 2 1 にフィルム観方向の一方側Q(第 2 図)、又は 他力側Rへの寄り移動を生じても、その寄り力は 小さいものである。

2 8

加熱体 19は前述第13 図例装置の加熱体 54 と門様に、ヒータ基板 19 m (第6 図参照)・ 通常免熱抵抗体 (免熱体) 19 b・表弱保護剤 19 c・検温条子 19 d 等よりなる。

ヒータ共取19 aは耐然性・絶縁性・低熱容限・高熱伝導性の部材であり、例えば、好み1 mm・(印10 mm・長さ240 mmのアルミナ某版である。

免結体 1 9 b はヒータ 抗版 1 9 e の下師(フィルム 2 1 との封間側)の略中央部に 後手に沿って、例えば、 A g / P d (銀パラジウム)、 T a , N . R u O , 等の 電気抵抗材料を序み約 1 0 μ m · 巾 1 ~ 3 m m の離状もしくは翻帯状にスクリーン 印刷 安により 地工し、 その上に 表面保護所 1 9 c として耐熱ガラスを約 1 0 μ m コートしたものである。

本側の別無体19の場合は、線状又は翻番状をなす免熱体19bに対し側像形成スタート保サにより所定のタイミングにて通電して免熱体19bを略令技にわたって免熱させる。

通電はAC100Vであり、検傷者子19cの 検知温度に応じてトライアックを含む不図示の 通電制御同路により通電する位相利を制御する

3 1

を 有する、 例 大 ぱ P P S (ポリフェニレンサルファイド)・ P A 1 (ポリアミドイミド)・ P I (ポリイミド)・ P E E R (ポリエーテルエーテルケトン) - 液晶 ポリマー 等の 高 利 熱 性 樹 昭 である。

(5)フィルム幅Cとニップ長Dについて。

第8回の中柱関係際のように、フィルム21の 相寸抗をCとし、フィルム21を挟んで加熱体 19と回転体としての加圧ローラ10の圧積に より形成されるニップ長寸法をDとしたとき、 C<Dの関係構成に設定するのがよい。

即ち」記とは逆に C ≥ D の関係構成でローラ1 0 によりフィルム 2 1 の 数送を行なうと、ニップ & D の 領域内のフィルム部分が受けるフィルム数 送力 (圧移力)と、ニップ & D の領域外のフィルム部分が受けるフィルム 搬送力 (圧移力)と、ニップ & D の領域外のフィルム部分の内面は加熱外 1 9 の面におして 微動 取込されるのに対して 後者 のフィルム部分の内面は加熱体 1 9 の表面とは 封買の異なる断熱部材 2 0 の面に接して 複動 数送され

ことにより供給電力を制御している。

加熱体19はその発熱体195への通常により、ヒータ基板19a・発熱体185・設面保護層19cの熱・低が小さいので加熱体表面が所要の定者違度(例えば140~200℃)まで急速に退使上昇する。

上記のように加熱体19と対向するフィルムの 表間温度は維時間にトナーの触点(又は記録材 シートPへの定君可能温度)に対して十分な高温 に昇速するので、クイックスタート性に優れ、 加熱体19をあらかじめ昇温させておく、いわゆ るスタンバイ温質の必要がなく、有エネルギーが 実現でき、しかも機内昇温も防止できる。

断熱部は20は加熱体19を断熱して発熱を 有効に使うようにするもので、断熱性・高耐熱性

3 2

るので、 大きく 異なるためにフィルム 2 1 の 組方向阿楽部分にフィルム搬送過程でシワや折れ 等の最景を生じるおそれがある。

これに対してCくDの関係構成に設定することで、フィルム 2 1 の幅方向全長級Cの内面が加熱体19の長さ範囲D内の既に接して貧知熱体表面を搭割して散送されるのでフィルム級方向会長級Cにおいてフィルム搬送力が均一化するので上記のようなフィルム線形展長トラブルが回避される。

また回転体として本裏絡例で使用した加圧ローラ10はシリコンゴム等の特性に優れたゴム材料製であるので、加熱されると表面の熔胀係数が変化する。そのため加熱体18の発熱体19bに関してその長き範囲引法をEとしたとき、その発熱体19bの長さ範囲Eに対応する部分におけるローラ10とフィルム21間の摩擦係数は異なる。

しかし、EくCくDの寸法関係構成に設定することにより、免熱体19bの長さ範囲をとフィルム幅Cの光を小さくすることができるため免熱体19bの技さ範囲Eの内外でのローラ10とフィルム21との厚原係故の違いがフィルムの概送に与える影響を小さくすることができる。

これによって、ローラ10によりフィルム21を安定に駆動することが可能となり、フィルム 構那の破損を助止することが可能となる。

(6)加圧ローラ10について。

加熱体19との間にフィルム21を挟んでニップ的Nを形成し、またフィルムを影動する 顔似体としての加圧ローラ10は、例えば、 シリコンゴム等の動型性のよいゴム弾性体から なるものであり、その形状は長手方向に関して

3 5

にシワを発生させることがあり、更にはニップの Nに記録材シートアが導入されたときにはその 記録材シートアにニップ部数送通過過程でシワを 免生させることがある。

回転体としての加圧ローラ10は本実施側装置のように加熱体19との間にフィルム21を 状んで加熱体19にフィルム21を圧停させると 共に、フィルム21を所定速度に移動眼動し、 フィルム21との間に被加熱材としての記録材

近クラウンの程度ははローラ10の有効長さりが例えば230mmである場合にむいて

d = 100~200μm に設定するのがよい。

即ち、ストレート形状ローラの場合は無品結准のバラツキ等により加熱体19とのニップ係のドにないてはローラによりフィルム21に加えられるフィルムの個方向に関する圧力分析はフィルムの個方向に関する圧力分析となるのというで、つまりはローラによるフィルムののというによるフィルムののようというではカーの大きいフィルムの大きいで、フィルム部分が会議があった。フィルム部分が会議がある。フィルム部分が会議がある。フィルム部分が会議がある。フィルム部分が会議がある。フィルム部分が会議がある。フィルム部分が会議がある。フィルムの大きの大きいで、フィルムの大きの大きのアィルムの大きのアィルムの大きのアィルムの大きのアィルムの大きのアィルムの大きのでは、フィルムの大きのアイルムの大きのアイルムの大きのアイルムの大きのアイルムの大きのアイルムの大きのアイトを受ける。

3 6

シートPが導入されたときはその記録材シートPをフィルム21 面に密着させて加熱体19に圧接させてフィルム21 と共に所定速度に移動駆動させる駆動都材とすることによりフィルムにかかる等り力を低減することが可能となると共に、加圧ローラ10の位置や減ローラを駆動するためのギアの位置様度を向上させることができる。

即ち、知然体19に対してフィルム21又はフィルム21と記録材シートPとを加圧圧接させる加圧機能と、フィルム21を移動駆動させる駆動機能とを夫々別々の加圧機能開転体との存在を加圧力はこの内転体を加近することにより得るなの加圧力はこの内転体を加近することにより得るなる)とフィルム駆動機能回転体で行なわせる特殊の助機能回転体間のアライメントが狂った場合に対象を機能回転体間のアライメントが狂った場合に対象が動態がある。

またフィルムの駆動部制を兼ねる加圧回転体に 加熱体19との圧掛に必要な加圧力をパネ体の 押し付けにより加える場合には減極転体の位置 や、 該回転体を駆動するためのギアの位置特度が だしずらい。

これに対して解記したように、加熱体19に定る時に必要な加圧力を加え回転体たる加圧ローラ10により記録材シートPをフィルム21を介して圧慢させると共に、記録材シートPとフィルム21の影動をも同時に行なわせることにより、前記の効果を得ることができるとができる。

なお、回転体としてはローラ10に代えて、 第10例のように回動変動されるエンドレス ベルト10Aとすることもできる。

(7) 記録材シート排出速度について。

ニップ部 N に非人された被加熱材としての 記録材シート P の加圧ローラ 1 0 (回転体) による搬送速度、即ち該ローラ 1 0 の関連度を V 1 0 とし、排出ローラ 3 4 の間速度を 歴送速度、即ち該排出ローラ 3 4 の周速度を

39

部 N を通過している過剰で記録がシートP上の 決定者トナー象で ■ (第7回)もしくは象化・ 格融 状態 と なったトナー象 T も に 乱れを生じ させる可能性がある。

そこで前記したように加圧ローラ10の期連度 V10と排出ローラ34の周速度V34を

V 1 0 > V 3 4

の関係に数定することで、起縁射シートPとフィルム21にはシートPに排出ローラ34による 引っ張り力が作用せず加圧ローラ10の厳選力のみが与えられるので、シートPとフィルム21間のスリップにもとずく上紀の両値乱れの発生を防止することができる。

排出ローラ34は木実施例では加熱装置100 側に配設其幅させてあるが、加熱装置100を 組み込む断像形成装置等本体値に具備させても よい。

(B) フィルム領形規制プランジ問題について。 フィルム 蛸 形 規 削 手 段 と して の 左 おー 対 の フランジ 都 材 2 2 ・ 2 3 のフィルム 編 形 場 制 通 v34としたとき、V10>V34の建設関係に 設定するのがよい。その建成表は数条例えば 1~3%程度の数字でよい。

装別に得入して使用できる記録がシートPの 最大幅寸法をF(第8回参照)としたとき、 フィルム21の配寸法Cとの関係において、 FくCの条件下ではVIO ≤ V3 4 となる場合 にはニップ部Nと誘出ローラ3 4 との両名間に またがって搬送されている状態にある記録材 シートPはニップ部Nを通過中のシート部分は 排出ローラ3 4 によって引っ張られる。

このとき、表面に離型性の良いPTFE等のコーティングがなされているフィルム21は 加圧ローラ10と間一速度で搬送されている。一方記録材シートPにはローラ10の内達よりも違い かんこ ため、加圧ローラ10の内達よりも違い 建攻で搬送される。つまりニップ部 N において 記録材シートPとフィルム21はスリップする 状態を生じ、そのために記録材シートPがニップ

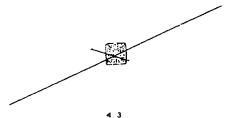
4 0

としての鍔座内値 2 2 a · 2 3 a 間の間隔寸法を G (第8 図)としたとき、フィルム 2 1 の幅寸法 C との関係において、C < G の寸法関係に設定するのがよい。例えばC を 2 3 0 m m としたとき G は 1 ~ 3 m m 程度大きく設定するのである。

22・23のフィルム娯忽以制語 22 a・23 a 肉での作数力も増大するためにフィルムの搬送力 が低 f してしまうことにもなる。

C く G の 寸 放関係に 双定することによって、 加格によりフィルム 2 1 が影像しても、 艶 優 意 以上の 韓間 (G - C) をフィルム 2 1 の 両 順形 とフランジ 部材のフィルム 構 密 規 制 所 2 2 a ・ 2 3 a 間 に 及 け ることにより フィルム 2 1 の 両 論 都 が 同 時 に フランジ 部 材 の フィルム 端 都 鬼 刺 爾 2 2 a ・ 2 3 a に 当 接 す ること は ない。

従ってフィルム 2 1 が熱膨張してもフィルム 2 1 が熱膨張してもフィルム 2 1 の 端部 5 メージを防止することが 可能に なると 八に、フィルム 類 動力も 軽減させることが できる。



所して、41 と41 との関係は

μ1 > μ2

の関係構成にする。

即ち、この種のフィルム加熱力式の装置では 前記μ(ヒμ5 との関係はμ(くμ5 と数定され ており、また画像形成装置では前記21 と 2 2 との関係は 2 1 > 2 1 となっている。

このとき、 μ 1 S μ 2 では加熱定若手段の 断而方向でフィルム 2! と記録 材シート P が スリップ (ローラ 1 0 の同連に対してフィルム 2 1 の数送速度が遅れる) して、加熱定 3 時に 記録材シート上のトナー画像が乱されてしまう。

また、記録材シートPとフィルム21が、体でスリップ(ローラ10の周速に対してフィルム21と記録材シートPの暫返速度が遅れる)した場合には、転写式両像形成装置の場合では画像転写手段形において記録材シート(転写材)上にトナー両像が転写される既に、やはり記録材上のトナー両像が転ぶされてしまう。

(9)各部材間の原数係数関係について。

- フィルム21の外別前に対するローラ(回転体)10表面の摩擦係数を止)。
- b. フィルム 2 1 の内周面に対する加熱体 1 9 表前の摩擦係数を μ 2、
- c. 加熱体19 段前に対するローラ10 表面の 摩擦係数をμ1、
- d. 被加熱材としての記録材シートP表流に対す るフィルム21の外荷のの原数係数を44、
- e. 紀縁材シートア教能に対するローラ10表所の序標係数をμ5、
- 装置に導入される記録材シートPの搬送方向の最大長さ寸折を all。
- 4. 契罰が再像加熱定者製剤として転写式補償 形成製量に組み込まれている場合において 両位転写手段部から補償加熱定身装置として の該製剤のニップ部Nまでの記録材シート (転写材) Pの搬送路長をま2、

とする.

4 4

上記のように 41 > 42 とすることにより、 新南方向でのローラ1 0 に対するフィルム 2 1 と 記録 材シート P の スリップを 防止することが できる。

また、フィルム21の続け抜くと、耐転体としてのローラ10の長さ寸法Hと、加熱体19の長さ寸法Dに関して、C<H、C<Dという条件において、

μ I > μ 3

の関係構成にする。

即ち、μ1 ≤μ1 の関係では知無定界下段の 幅方向で、フィルム 2 1 とローラ 1 0 がスリップ し、その結果フィルム 2 1 と記録材シート P が スリップし、加熱定着時に記録材シート上の トナー顧彙が乱されてしまう。

上記のように μ1 > μ1 の関係構成にすることで、個方向、特に記録材シート Pの外側でローラ10 に対するフィルム 2 1 のスリップを防止することができる。

このようにμ | >μ1、μ | >μ | とす。ことにより、フィルム 2 1 と記録材シート P の酸送速度は常にローラ | 0 の関連役と同一にすることが可能となり、定義時または似岁時の画像乱れを防止することができ、μ | >μ | 2 ル | >μ | を同時に変越することにより、ローラ | 0 の | 同時に変越することにより、ローラ | 0 の | 同時に変越することがより、 数字式画像形成装置においては安定した定義画像を得ることができる。

(10)フィルムの客り制御について。

第1~10回の火飯機袋数のフィルムをり制料はフィルム21を中にしてその幅方和高端側にフィルム21を中にしてその幅方和高端側にフィルム32を配数してフィルム21のたち内方向の等り移動Q…Rに対処したものであるが(フィルム内側端部規制式)、フィルム片側端部規制式として次のような構成も打動である。

即ち、フィルムの幅方向への寄り方向は早に 圧力 Q か 打力 R への … 方方向となるように、

4 7

形成する加圧ローラ10により駆動されている ため特別な駆動ローラは必要としない。

このような作用効果はフィルムに全周的にテンションをかけて駆動するテンションタイプの 装置構成の場合でも、本実施例装置のように テンションフリータイプの装置構成の場合でも 門様の効果を得ることができるが、禁手段構成は チンションフリータイプのものに体に最適なもの である。

(11)西依形成装置例

第12回は第1~10回例の函数加熱定署装置 100を組み込んだ値像形成装置の一例の碾略 構成を示している。

本例の函像形成装置は転写式電子写真プロセス 利用のレーザービームブリンタである。

6 0 はプロセスカートリッジであり、回転ドラム 型の電子写真感光体(以下、ドラムと記す) 6 1 ・帯電器 6 2 ・現像器 6 3 ・クリーニング 装置 6 4 の 4 つのプロセス 最 器 を包含させて ある。このプロセスカートリッジは装置の関閉局

4 9

例えば、第11関例製造のように左右の加圧 コイルばね26・27の歌動側のばね27の 加圧力 f 2 7 が北原動隊のほね 2 8 の 加 F ル f 2 8 に比べてなくなる (f 2 7 > f 2 6) ように栓定することでフィルム21を常に影効能 である石方Rへ守り移動するようにしたり、 その他、加熱体19の形状やローラ10の形状を 断動機能と非動動機器とで変化をつけてフィルム の数決力をコントロールしてフィルムの省り方向 を常に一方的のものとなるようにし、そのなり個 のフィルム雑郎をその似のフィルム雑郎の規制部 材としてのフランジ部材や、フィルムリブと 係合案内部材等の手段で規制する、つまり第15 役倒装置においてフィルム 2 Lの姿り顔Rの雄郎 のみを規制形材27で規制することにより、 フィルムの寄り制御を安定に认つ容易に行なう ことが可能となる。これにより製図が顕像加熱 定着強闘である場合では常に安定し良好な定義 両位を得ることができる。

また、エンドレスフィルム21はニップ部Nを

4 8

6 5 を測けて装置内を開放することで装置内の 所定の位置に対して看服交換自在である。

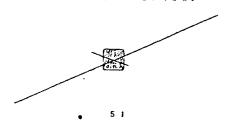
爾優 形成スタート 信 りによりドラム 6 1 が 矢示の時計方向に回転駆動され、その回転ドラム 6 1 而が 帯電器 6 2 により所定の極性・電位に 一型帯電され、そのドラムの帯電処理面に対して レーザースキャナ 6 6 から出力される、目的の 両像 桁 権の時 系列電気デジクル過素 信 号に対応 して変調されたレーザビーム 6 7 による主走 意 変光がなされることで、ドラム 6 1 而に目的の 歯像情報に対応した静電滑便が順大に形成されて いく。その潜像は次いで現像器 6 3 でトナー両像 として順極化される。

一方、齢低カセット68内の記録材シートPが 輸紙ローラ69と分離パッド70との共簡で1枚 充分離削送され、レジストローラ対71により ドラム61の回転と阿斯取りされてドラム61と それに対向圧接している転写ローラ72との 定者部たる圧慢ニップ都73へ輸送され、放輸送 記録材シートP面にドラム1面側のトナー調像が 用次に転写されていく。

数字部 7 3 を通った記録材シート P は K ラム 5 1 両から分離されて、ガイ K 7 4 で定義装置 1 0 0 へ 導入され、 何速した 該装置 1 0 0 の 助作・作用で 未定者トナー 動像の 加熱定者が 実行されて出口 7 5 から両像形成物 (プリント) として出力される。

転写部73を通って記録料シートPが分離されたドラム61mはクリーニング装置64で転写 残りトナー等の付着汚染物の除去を受けて繰り返して作像に使用される。

なお、本発明の加熱装別は主通例の指数形成装置の複像加熱定券装置としてだけでなく、その他に、 測像 前加熱 つや出し装置、 仮定 春製器 などとしても効果的に活用することができる。



4、 関節の簡単な説明

第1回は一実施供装配の積載面盤。

第2回过被断阶間。

第3回は右側頭网。

第4 領は左側而図。

第5例は要那の分解料複類。

第 6 図は非駆動時のフィルム状態を示した姿態の拡大機断而図。

第7回は駆動時の向上図。

第8回は構成即材の寸法関係図。

第9 図(A)・(B)は夫々回転体としてのローラ10の形状例を示した的保影状図。

第10例は回転体として回動ベルトを用いた例を示す例。

第11 復はフィルム片側橋部規制式の装収例の 経断前例。

第12回は刺激形成数置例の観時構成図。

第13 図はフィルム加熱方式の軽量加熱定着 装置の公知例の根略構成図。

(発明の効果)

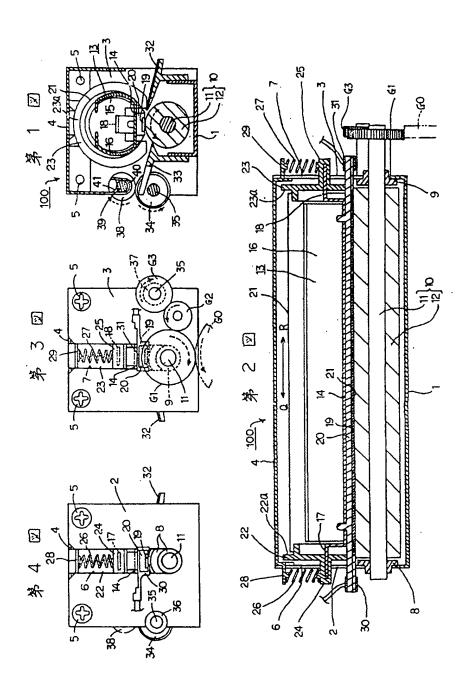
以上のように本発明のフィルム加熱方式の加熱被震はフィルムについてテンションフリータイプの特成のものであるから、フィルムの駆動力を低減することが可能となると共に、フィルムの等り力を小さくできてフィルム概念ダメージを防止し得、装置部品や副み立て特度をラフにすることも可能で、被提典成を簡略化・小型化・低コスト化でき、しかも少定性・信頼性のある数数となる。

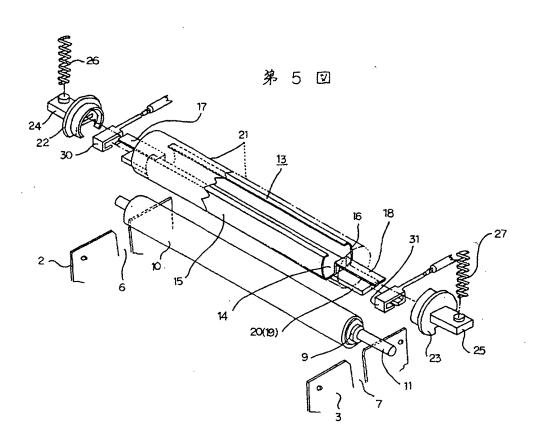
加圧回転体によりフィルムを駆動することにより 装置の構成が 更に 前時化されると共に、コストの低級が可能となる。

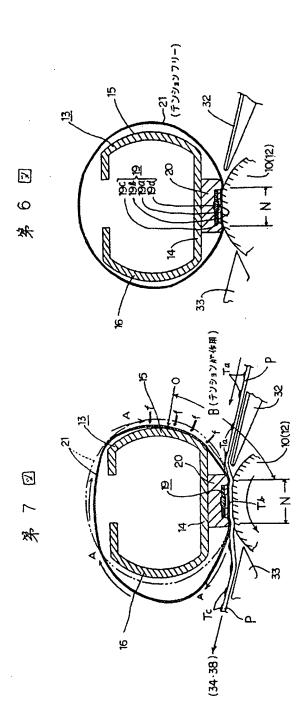
5 2

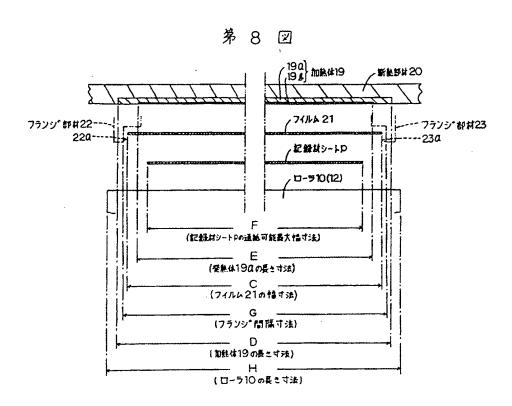
1 9 は加熱体、2 1 はエンドレスフィルム。
 1 3 はステー、1 0 は回転体としてのローラ。

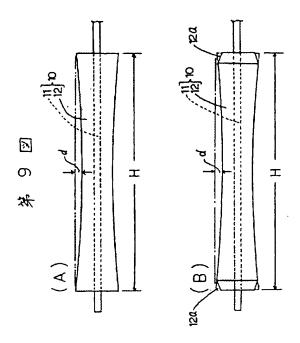
特許出職人 キヤノン株式会社 原語 化 塚 人 高 梨 ギ 雄雄県

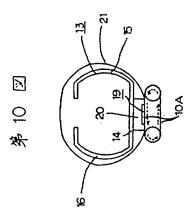


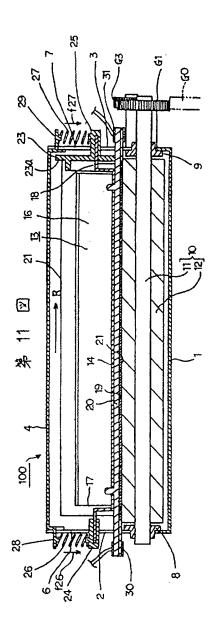




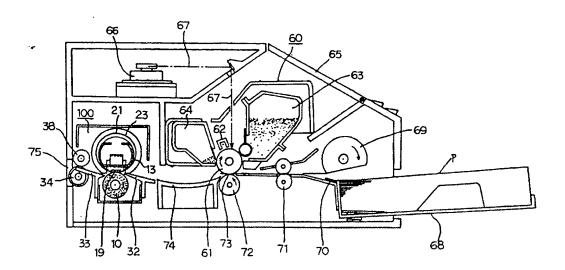








第12 図



第 13 図

